

射水市立東明小学校活動報告

◆活動取組の紹介

・「学校ボランティアの方との交流会」(4月)

参加人数 全校児童 241名

登下校の見守りや、クラブ、読み聞かせ等のお世話になる地域のボランティアの方々を学校に招待して集会を開いた。ボランティア委員会や放送集会委員会が中心となり、お世話になるボランティアの方々に「よろしくお願ひします」と挨拶をしたり、一緒にゲームをしたりして楽しく交流した。



〈学校ボランティアの方との交流会〉

・「福祉プラザ七美との交流会」(11月)

参加人数 ボランティア委員 9名

校区内にある老人保健施設の方と、交流会を企画した。お年寄りの方に楽しんでもらえるようにじゃんけんゲーム、しりとり、ジェスチャークイズ等を実施した。じゃんけんの手がよく見えるように段ボールでゲー・チョコキ・パーを作成したりゲームの回数やヒントの出し方を工夫したりするなど、お年寄りとの楽しい交流を目指して取り組んだ。相手を思いやって考えたり行動したりする心が育った。



〈福祉施設の方との交流〉

・「アルミ缶、ベルマーク集め」(毎月15日)

参加人数 全校 241名

アルミ缶は、校区内にある障害者支援施設いみず苑の作業用に回収している。そのほか、ベルマークの回収を行っている。年度の初めに収集の趣旨をボランティア委員が放送や便りで伝えたり、毎月の回収活動の際に積極的に呼びかけを行ったりしたことで、全校の子供たちのエコ、福祉活動への意識が高まってきた。

・「あったか言葉」(年間)(2月)

参加人数 全校 241名

年度の初めに各学級で言われてうれしいあったか言葉を出し合い、年間を通して意識して使えるよう掲示した。また、ボランティア委員会の企画して、全校にあったか言葉をもっと使ってほしいと考え、「あったか言葉の木」をつくった。あったか言葉を言ったら木のイラストにシールを貼って各学級のあったか言葉の木にたくさんの花を咲かせることができた。楽しみながら進んであったか言葉を使う子供たちが増えた。



〈あったか言葉の木〉

◆最後にひとこと

学校ボランティアの方との交流会では、たくさんの地域の方々が自分たちの学校活動にボランティアとして関わってくださっていることに気づき、交流会を通して感謝の気持ちをもつことにつながった。

福祉施設や保育園との交流を様々な学習場面で行うことができた。子供たちは施設の入居者の方や園児の気持ちを考えてどのような関わりをもてばよいかを考えながら活動に取り組むことができた。相手の気持ちに寄り添いながら声をかけたり対応を工夫したりするなど、相手を思って行動する子供たちの姿が多く見られた。今後も交流できる機会があるとうれしいと感想をいただいた。

挨拶運動やあったか言葉の取組について、委員会の子供たちが中心となって呼びかけを行った。進んで行えるよう、子供たち自身が様々なアイデアを考え活動に取り組むことができた。今後も子供たちが主体的に考えて行動できるよう、支援や指導をしていきたい。